

2015/01/28 朝日
外環道の地上道
廃止の申し立て

練馬など沿線住民428人

都が外環道の地上部に計画している都市計画道路「外環ノ2」(世田谷区練馬区、9丁目)の廃止を求め、練馬区などの沿線住民ら428人が27日、行政不服審査法に基づく異議申し

立てを都に提出した。住民側が都庁で記者会見し、発表した。

「外環ノ2」は外環道が高架で計画されていた1966年、高架下沿いに都市計画決定された街路。しかし、外環道は2007年に地下に変更されており、住民側は「『外環ノ2』は外環道が地下化された時点で廃止すべき、不要な道路

だ」などと訴えた。

都は昨年11月、「外環ノ2」の練馬区内の2・8丁目区間について、幅を約40メートルから約22メートルに変更。住民側はこの都市計画変更決定を機に、異議を申し立てた。

「外環ノ2」をめぐっては、杉並区善福寺2丁目の約300メートル区間について、立ち退きを求められることになる住民121人も、都

市計画法に基づき、都に計画の廃止を提案している。

(上沢博之)